

176 山崎博道・奥石美穂

ダンスは上手いですが、しかしダンスが内側に纏まっているので迫力が外に出足りません、今後の課題として頑張ってください。

263 猿田雄二・久保田幸

良く纏まっていますが、男子は女子の動きをもう少し理解し、女子を自由に踊らせたい。

275 中村公紀・大塩香澄

ダンスが綺麗で好感が持てます、自分たちのダンスをさらに磨いて下さい、有望カップルです。

294 三室雄司・武藤慶子

将来性のあるカップルです、ところどころ男子が女子の分まで動いてしまい、女子の良さを消してしまう所があります。

318 野村直人・山崎かりん

全体的に大変内容の良いダンスです、男子は音に対する細かいパーツの動きや使い方の研究をすると今後もっと良くなるでしょう、女子は大変進歩してます、ワールドクラスを目指して頑張ってください。

334 伊藤光・中川サリ

まだまだダンスが荒いです、中途半端な動きではなく、身体を動かし切って踊った方が荒さは消えます、ダイナミックなダンサーを目指して頑張ってください。

176 山崎博道・奥石美穂

全ての競技会において、全力でエネルギッシュなダンスで目を惹きます。基本動作を理解した上でのダンスにはブレない力強さと安定感があります。コリオグラフィー構成も良く、選手権においても頭角を現してきました。今後は種目ごとの表現の違いや変化、内面的な気持ちをもっと研究して磨いて欲しいです。これからも期待しています。

263 猿田雄二・久保田幸

小柄ながらしなやかで伸びのある、息の合ったダンスです。以前タイミングの早取りが良くない影響として見えていた気がしましたが、今回修正されて見えました。音楽を意識しながら体を動かして行く上で、自分たちが表現したいタイミングや間、強弱、コンパクト&ストレッチ、音の早取り遅取り、などで見る側の目を惹きつけるダンスを見せて欲しいと思っています。

275 中村公紀・大塩香澄

ナイスルッキングカップル。衣装のセンスも良く、競技に向かう気持ちとルーティン構成、スキがありません。大勢のダンサーの中でも、今回の様にソロで見ても素敵なカップルです。タイミングもクリアーで男女の動きの違いやポジションをしっかりと理解したダンスは強さにも繋がります。表現が1パターンになってしまう様に色々な気持ちの変化あるダンスを少し意識出来るともっと素晴らしいカップルになって行けるのではないかと感じました。

294 三室雄司・武藤慶子

とても個性的なカップル。質の高い動きと表現が出来る女子と、そんなパートナーをより引き立たせる男子の動きとポジショニングが良いですね。ユニークな振付とタイミングで目を惹きますが、腕や、手、立ち方が少しラフに見えてしまう時があるので、修正して行くとグ〜っ！っといいラテンカップルに成長出来るのではないかと思います。

318 野村直人・山崎かりん

男女とも抜群の身体能力と恵まれた体つき、アスリートとしても鍛え上げられた2人は世界のトップダンサーにも引けを取らないですね。コリオグラフィー、衣装、音楽表現、全てにおいてハイレベルですね。もう目印的な感じでもあるのですが、男子のネックライン〜背中に向けても可動出来る様になると、もっと素敵なカップルになるのではないかと、私は感じました。これからも楽しみです。

334 伊藤光・中川サリ

力強さと表現力で楽しませてくれるカップル。種目ごとの特徴表現や、良い意味での内面的に演じる、魅せるという意識を高く感じてとっても良いダンサーだと認識しています。大勢の中での競技会ではタイミングのクリアーさが無くなってしまいう時があるので、いつも今回の様なダンスで魅せてくれると嬉しいです。

176 山崎博道・奥石美穂

PasoDoble 決勝入賞おめでとうございます。

よくリハーサルされていて、普段のコンペよりオンラインだとじっくり見れるので二人ともしっかり踊っているのが分かりますね。

Rumba パソ同様によく踊っていますが、時々内面的になり過ぎ表現が表に出ていないので地味に見えてしまいもったいないですね。

テクニックはあると思うので、表現方法を少し今までにはないものを取り入れてみると良いのではないのでしょうか。

お二人の今後の活躍に期待していますので、コロナに負けず頑張ってください。

263 猿田雄二・久保田幸

PasoDoble 決勝入賞おめでとうございます。

予選から小柄ながら身体を余すことなく使っていて気持ちの良いダンスですね。

よくリハーサルされているように見えます。

Samba 最近ラテンダンサーも大型化している中、二人とも小柄ながら身体をよく使って踊っていますが、もう少しスピードや音のメリハリをつけるなどして、身体の大きな選手には真似のできないような二人独自のスタイルを作り上げて行って欲しいですね。

お二人の今後の活躍に期待していますので、コロナに負けず頑張ってください。

275 中村公紀・大塩香澄

PasoDoble 決勝入賞おめでとうございます。

学連時代からチラチラと気になっていたカップルですが、だいぶプロっぽくなってきましたね。セグエ選手にもなり今後は更に楽しみですが、カップルでまだまだ線が細いのでフロアでの力強さが欲しいですね。

Chachacha やはり二人とも身体のボリュームがないので、もう少し肩甲骨あたりを動かして厚みのあるダイナミックな動きが欲しいですね。君達のような若いダンサーが頑張っていて、これからの日本のダンス界をリードしていってくれることを期待しています。

294 三室雄司・武藤慶子

PasoDoble 決勝入賞おめでとうございます。

とても個性的なカップルで見えて飽きないですね。特に女性が自分を持っていてとても良いです。男性にもう少し力強さが加わるといいですね。これからどう変化していくのか将来が楽しみなカップルです。

Chachacha 男性は下半身と上半身の動きが繋がっていないように見えるので、床を踏んだエネルギーを身体に伝えて欲しいですね。そうすればもう少しボディのトーンもついでに強くなると思います。

カップルとしては、もう少しスピードをつければ、もっとダイナミックに見えると思います。世界にひとつだけの独創的な踊りを作り上げていってくれることを楽しみに期待しています。

318 野村直人・山崎かりん

PasoDoble 決勝入賞おめでとうございます。

学連最後の全日本の時、二人が別々の相手と踊っていたのをたまたま審査していましたが、その頃から二人は目立っていましたね。今や日本のファイナリストとして活躍されていますが、近い将来のチャンピオン候補としてこれからも世界で挑戦してってください。特に女性の身体能力は海外の選手に劣っていないと思います。男性もスタイルはとても良いので、あとは床を踏んだことによるエネルギーを身体に繋げていけばもっと力強くなると思います。

Jive 男性はパソと同様に、どの種目も肩甲骨あたりがもう少し動けば可動域が更に広がりダイナミックになると思います。あとはやはり、下半身からくるエネルギーがもっとあると海外の選手に負けない力強さとボディのトーンができると思いますね。今後の日本ダンス界をリードしてどんどんレベルを上げていってくれることを期待しています。

334 伊藤光・中川サリ

PasoDoble 決勝入賞おめでとうございます。

種目によって音がぼやけて見える時がありますが、このパソは良いと思います。

二人ともスタイルは海外の選手に劣っていないので、ファッション性だけではなくもう少し足下からくるエネルギーを出して踊って欲しいですね。

Jive 抜きで踊るのは悪くありませんが、ジャイブと言えどももう少しボディのトーンがあった方がいいですね。フロアでの存在感と強さをもっとつければ、これからもっと上に行くと思いますので、今後のお二人の活躍に期待しています。

176 山崎博道・奥石美穂

全種目を通して男性のボディトーンが緩く、ボディを使って踊る事をボディを緩めコントラアクションを多く使って動いているかのように見せると言うものに勘違いをしているように思える。

ボディアクションは、ボディを緩める事ではないと把握するべきだと思う。

女性は、動作の殆どが誰かのモノマネになりやすく又、動作のボキャブラリーが少ないのでどの動き又パフォーマンスが同じに見えてしまい単調になりやすい。

今後は、一つ一つの動作や音楽表現を繊細に作り上げてもらいたいと思う。

263 猿田雄二・久保田幸

コロナ禍の中でも、しっかり練習していたのだろうと思うくらいリハーサル量は感じられるが、このカップルが今後競技会で上位を狙うには繊細な部分の改善が必要に感じる。

例えば、男性のボディトーンの作り方が胸を張った状態で踊る為ボディアクションが少なくなりリズムの表現がステップになってしまう感がある。

今一度、ボディの立ち上げ方から研究する事が必要に感じる。

275 中村公紀・大塩香澄

このカップルの良いところはダンスが“元気”な事で、このカップルの良くないところはダンスが“元気過ぎる”事である。

男女共美しいレッグアクションや神経の行き届いたアクションが少なく、男性のフリーアームは意味ない動きが多い、女性は自分に意識の無い男性について行くのがやっとならぬ不安気でメインであるべき女性が影のようになる。

音楽の取り方は、常にスタッカートで陰影がない。

今後、このカップルには“元気”だけが売り物にならないよう繊細なレッグアクションやアームの使い方や繊細な音楽表現を研究する事が必要だと思う。

294 三室雄司・武藤慶子

他のカップルとは違うコリオグラフィーをちゃんと理解して踊るこのカップルのパフォーマンスは非常に好感が持てる。

ただ、男性の体の線が非常に細いので競技会で見るとどこか弱く見えてしまうのも事実である。

このようなタイプのダンサーは、独自のボディの立ち上げ方又アクションの方法を研究し生み出す必要があると思う。対照的にパートナーは元気でストロングであるが今後はコントロールの美しさなどを加えると、カップルバランスももっと良くなるのではないだろうか。

318 野村直人・山崎かりん

踊り方を見て、日本で唯一世界に照準を定めてダンスを作り上げているカップルなのではと感じる。二人のダンスはコンパクトで、男女の動きの比率を考えてパフォーマンスを作っているので余計な動きが少ない。だが、このカップルが世界のトップに駆け上がるにはもっともっとエネルギーが必要だと思う。そのエネルギーも、ただ動く事ではなく“静”の動きのエネルギーが必要だと思う。なぜなら、二人がコントロールをして丁寧に踊っていると思われるステップの時に、まるで手抜きをしているかのようにエネルギーが無くなってしまふからである。

今後は、この“静”の動きのエネルギーがこのカップルの課題だと思う。

334 伊藤光・中川サリ

以前に比べると二人の動きがまとまってきたのは確かであるが、まだ男女共ボディやアーム又フットを投げ出して踊る習慣が抜けない。

又男性は頭の位置や視線が安定しないため乱雑に踊っているように感じてしまう。

やはりこのカップルには、思い切り踊ってる中での繊細なコントロールを求める。

後期:「講評」には、担当下さいました審査員の方々に担当割をさせて頂きました。

よって、選手一組ずつの講評を寄せて頂いた競技会や全体像としての講評を寄せて頂いた競技会等々、それぞれの文面に個性が表れており楽しくご覧になって頂けたらと思います。

※ 記載されている講評番号は採点集計表の審査員番号とは異なります。